

宣言

吾人は何者も所有しない無産労働者として、生れながらに油ごみの中に生活の苦しみを實感して居るものである。

吾人の此の黒手は生産者として尊き社會の總ての富を創造して居る。

見よ、吾人の生活に必要な、光も、熱も、隣人の衣も、住家も、皆な吾人の血と汗と涙の結晶である。

ここに！！

然るに吾人は、社會人として得る何物もないのだ、吾人の黒手に依つて生産した富は資本家の壟斷する

處となつて吾人は常に其生活を脅されて居る。

友は瘦せ衰へ、慈父は老の身に槌を振り、吾が娘は青春の美しさを暗き工場に喘ぐ、嗚呼何たる慘ぞ。

友よ、如何にしてか此の苦の範疇より脱せん。吾人生産者は飽くまでも、文明的社會人の體面を保つべき生存の權利あることを主張せざるを得ない。

夫れ吾人の熱き力は何をか求めんや。

『萬國の労働者よ、團結せよ』是れ即ち吾人の偉力である。

諸君よ、全力を舉げて諸君の後援と監視の下に、中央委員會の抵抗と其の運用とに意義あらしめよ。

大正十年十一月

芝浦労働組合